

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html>

毎月第3日曜日は「家庭の日」

小学生交流事業

大田原市では、友好親善都市の岡山県井原市と小学生交流事業を行っています。この事業は、「交流・交歓をとおして見聞を広め協調性に富み、広い視野に立って物事を考えることができ、かつ、行動力のある児童の育成」を目的として実施され、今年度で29回目を迎えました。

今年は8月3日～6日に大田原市の児童20名が井原市を訪問しました。井原夏まつりの参加、田中美術館見学、花火大会、与一記念弓道場での弓道体験等を通して、井原市の文化に触れるとともに児童との交流を深めました。子供たちにとって、心に残る夏の思い出になったのではないのでしょうか。来年度は、井原市の児童が大田原市を訪れる予定です。



洋上北海道学習に行ってきました！

那須塩原市内の小学6年生64名が参加し、7月22日～26日の5日間、令和元年度洋上北海道学習を実施しました。子供たちは木古内町での工作体験、函館市でのベイエリア見学と夜景観賞、二セコ町でのラフティング、札幌市での自由見学、船内での共同生活等の様々な体験を通して一回り成長して帰ってきました。

たくさんの仲間と出会い共に学びながら得たものが、子供たちの心身の成長につながり、将来の那須塩原を担う力になっていくことを期待しています。

11月には「なすしおばら まなび博覧会」において、代表者による体験学習発表を行います。



海岸で貝殻を拾って
アルバムを作りました。



五稜郭タワーから
五稜郭を確認！

「みんなで作ろう！子どもが主役の子どものまち」

8月4日に、那須町文化センターで「第17回なすまち子どもフェスティバル」が開催されました。

事前の募集により集まった子ども店長が実行委員の大人たちと会議を重ね、当日は子どものまちコーナーに子ども店長が中心となって考えた「世界に一つだけの店」がたくさん並びました。参加者は、お店などで調理や呼び込みなどのアルバイトをして給料（仮想通貨）をもらい、買い物をしたり遊んだりして楽しみました。また、運営ボランティアとして30名を超える高校生が参加しました。スローガンのとおり子ども達が主役となり、子どもフェスティバルが盛大に開催されました。



ニュースポーツのすゝめ

那須地区では、生涯学習・社会教育・生涯スポーツの振興・充実と活性化のために、市町行政と連携し、「ふれあい学習推進セミナー」を実施しています。年4回あるセミナーでは、毎年ニュースポーツの研修も実施しています。今年度は9月17日に大田原市スポーツ推進委員指導のもと、「スマイルボウリング」「スカッドボール」の実技研修が行われました。誰でも安全に楽しくできるニュースポーツは、生涯スポーツの振興におおいに役立つものです。

各市町では、様々なニュースポーツができる道具がそろえてあり、指導できるスタッフもいます。興味がありましたら、各市町のスポーツ振興課（係）にお問い合わせください。

